水産業振興をめざし、愛媛大学南予水産研究センターが始動！

4/2

西海支所で、水産養殖の研究を通じた地域活性化をめざす「愛媛大学南予水産研究センター」の開所式があり、愛媛大学や南予の自治体首長、漁協、水産業者等の関係者、約80名が出席しました。

同式典では、小松正幸（まさゆき）愛媛大学学長が「水産養殖の基礎研究を通じ、地域と密着した活性化策をめざしていきたい」とあいさつがあり、続いて、谷口町長が「この開所式を迎え、非常に感激している。今後、大学とともに、新たな水産振興をめざしていきたい」とあいさつを述べました。

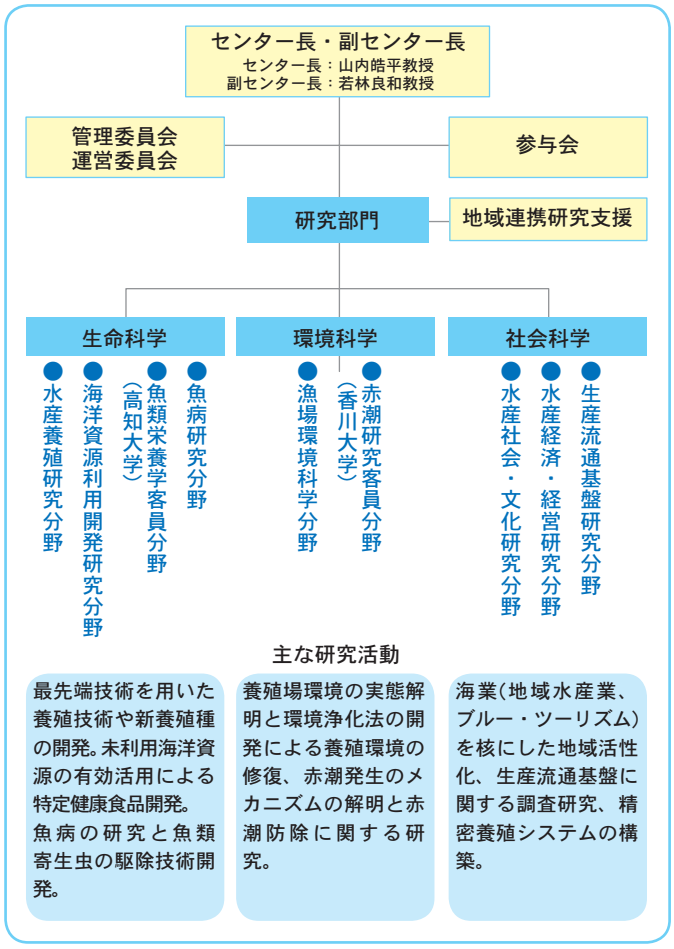
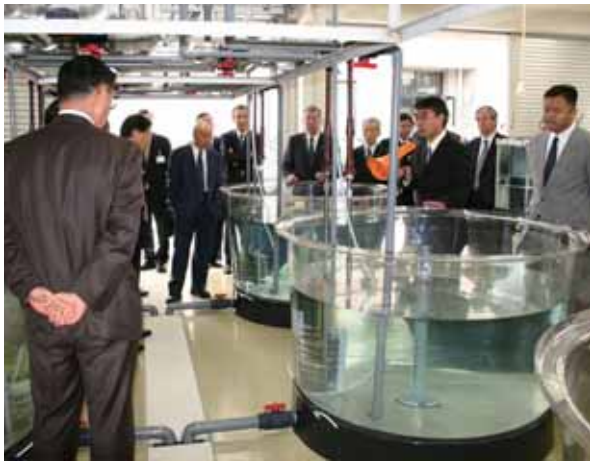
愛媛大学南予水産研究センターの役割は

大学の研究力を効果的に地域活性化に結びつけるため、水産業の活発な愛南町に活動拠点を置き、地域住民と連携、協力して地域貢献をめざす施設で、全国的にも注目される愛媛大学の取組みです。

町も、同センターと漁協や水産業者等の連携を密接にするため、水産課に「水産研究開発室」（西海支所内）を新設し、地域に根ざした活動をサポートしていきます。

どんなことを研究するの

「生命科学」「環境科学」「社会科学」の3研究部門、9つの分野で構成され、愛媛大学の教員のほかに、高知・香川・京都・北海道の各大学の客員研究員と学生が、研究成果の地域還元をめざします。また、愛媛大学が住民から「地域特別研究員」を公募します。この他、地元ゆかりの人物を講師に招き「あいあいセミナー（仮称）」を定期的に開催する予定です。

主な研究内容については、左図のとおりです。

今後、愛媛大学南予水産研究センターの活動内容等、詳しくは、同センター事務室（TEL 82-1022）にご連絡ください。